

令和元年9月4日(水) 17:00～ 於: 日華斎場 思親殿

【講師プロフィール・演題】

◆ 第1部 山田 慎也氏

国立歴史民俗博物館民俗研究系 教授 博士(社会学)

1992年慶應義塾大学法学部法律学科卒業

1997年慶應義塾大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学

2002年英国オックスフォード大学ニッサン日本インスティテュート客員研究員

「人はなぜお葬式をするのだろうか？」

生きている人々にとって死者はどういう存在なのだろうか。また死とはいったい何であろうか。現在では多くの場合、死者はこの世から消滅すると考えられているが、それにしてもいまだに人々の生活に死者は大きな影響を及ぼしている。こうした現代における死について、人々の生活の学である民俗学の立場から、現在の変わりゆく葬送儀礼を捉え、その意義について改めて考えてみたい。

主な著書

- 『現代日本の死と葬儀—葬祭業の展開と死生観の変容』 東京大学出版会、2007年、単著
- 『変容する死の文化—現代東アジアの葬送と墓制』 東京大学出版会、2014年、共編著
- 『近代化のなかの誕生と死』 岩田書院、2013年、共編著

◆ 第2部 森 みや子氏

モリプランニング代表 人材育成コンサルタント

株式会社東京放送においてTBS954キャスターとして、多く番組・CMに出演する。

代表番組には『久米宏の土曜ワイドラジオ東京』『大沢悠里のゆうゆうワイド』等の情報番組がある。キャスター時代の経験から人と人との交流に触発され、講師の道を歩み始め、モリプランニングとして独立、現在にいたる。

「葬儀業におけるコンプライアンス～現場におけるパワハラとは？」

かつては男性スタッフが多く現場を取り仕切っていたこの業界も、女性の進出も多く見受けられるようになった。セクハラに対してはかなり意識が浸透してきたものの、他業種から参入してきた経験少ない同業者や若い取引先担当者・あるいは高齢化が進む現場担当者など性別を超えたあらゆる年代層が行き交っている。そんな多様性の中、いろんなパワハラが潜んでおり、事前にしておくことが大事。

資格・その他

- 公益社団法人全日本能率連盟 認定マスターマネジメントコンサルタント(国際)
- 一般財団法人日本経営教育センター認定 経営労務コンサルタント
- NPO法人 日本産業危機管理協会 専任講師
- レジリエンストレーナー 認定講師
- 一般社団法人日本アンガーマネジメント協会認定 シニアファシリテーター・叱り方トレーナー